

技能検定の概要

～技能検定を受講される方へ～

(技能検定概要、諸注意事項をよく読んでいただき受講していただきたいと思います。)

技能検定の項目としては、1・スポーツ現場における移送・搬送法・固定法（包帯・三角巾の2種類） 2・テーピング技術（足関節：基本のテーピング） 3・スポーツ現場でのシナリオテスト（整形外科的徒手検査の確認を含む）を行います。

1・スポーツ現場における移送・搬送法・固定法

スポーツ現場において傷病者への一次処置として、受傷者が安全に、且つ、速やかに医療機関に受診できるよう移送・搬送法・固定法（包帯・三角巾）の検定を行います。

当日、事前の研修会を行い、終了後に検定を行います。

【内容】：

<止血・固定法> 傷をガーゼで覆い、包帯と必要に応じて副木固定を行う。

例) 転倒して手をつき、傷と骨折が疑われる場合に、止血や固定を行う。

<移送・搬送法> 傷病者1名を2人一組で搬送を行う。

例) 下肢の怪我により一人で動けない選手の搬送を行う。

2・テーピング技術検定

【内容】：足関節内反捻挫に対する再発予防の固定テーピング

【実施時間】：3分間

【使用テーピング】：アンダーラップ・非伸縮テープ（ホワイトテープ 38mm幅）

【テーピング手順】：

- ① アンカー
- ② スターアップ（平行スターアップ）
- ③ ホースシュー
- ④ サーキュラー
- ⑤ 外側ヒールロック（ハーフ）
- ⑥ 内側ヒールロック（ハーフ）
- ⑦ フィギアエイト
- ⑧ アンカー

【検定のポイント】：

- ・制限時間内に巻けるかどうか
- ・規定通り行えている
- ・固定力があるかどうか
- ・仕上がりの良さ

※当日、練習として使用される場合は、ご自身でアンダーラップ及び非伸縮テープ（ホワイト 38mm 幅）をご用意して下さい。（正し、検定時の使用テープは、こちらで準備致します。）

3・スポーツ現場でのシナリオテスト（整形外科的徒手検査を含む）

【実施時間】：7 分間

【内容】：試合中に選手が怪我をして倒れたところからの想定。

選手の安全な移動方法・怪我の評価・試合に出場可能か否かの確認と説明・医療機関の受診の促しなど一連の流れで実施する。

例) 18 歳女性・競技種目（バスケットボール）・膝前十字靭帯損傷

「カットインしようとした時、踏み込んだ際にブチッと音がし、倒れた。」

【検定の手順・ポイント】：

- ① 声掛けをする。意識確認・近づきながら、出血・変形等を確認
- ② 骨折の有無を確認：叩打痛・振動痛の確認
- ③ 患部の変形・熱感・腫れを確認
- ④ 可動域と痛みの確認（自動運動・他動運動）
- ⑤ 整形外科的検査（スペシャルテスト）の実施と評価の確認
- ⑥ 評価結果を選手に伝え、医療機関受診の促しと今後の競技復帰へアドバイスを行う
 - ※ RICE 処置の必要性の確認と説明
 - ※ 選手へのリスク管理の説明